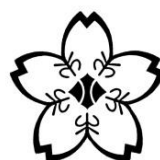


学校だより

生地っ子

〔育てたい子供像〕

「かんがえる子」「はげましあう子」「ねばりづよい子」



11号

黒部市立生地小学校

令和6年1月22日

～ 明けておめでとうございます ～

校長 齊藤 康

令和6年となりました。本年もよろしくお願いいたします。

まずは、元日から地震。大変でしたね。皆さんご無事でしょうか。生地小学校では元日から2日にかけて避難された方々がおられました。避難された方々は不安そうにテレビからの情報を見聞きしておられました。夕方から夜にかけてどんどん気温が下がり、寒くなってきます。その際、避難されている方々がストーブの移動や毛布、カンパン等の配布等を協力し合って行っておられました。生地地区の方々の「人を気遣う心」、「助け合う心」が見られました。大変な状況ではありましたが、励まされる場面が多く見られました。県内、県外で被災された方々、今も避難をされている方々、日常の生活になかなか戻れない方々、早くもとの生活に戻れることを願っております。また、復興のためだけではないのですが、未来を担う子供たちに生地地区の皆さんがもっておられる「人を気遣う心」、「助け合う心」が受け継がれていくことを願っています。

話は変わりますが、第100回箱根往復大学駅伝大会ご覧になりましたか（私はそんな余裕があるわけもなく、録画で最近見ました）。予想では「駒澤大学の優勝は、ゆるがない。一強」と言われていましたね。ところが結果は青山学院大学の完勝。青山学院大学の監督、原晋さんの監督としての手腕はすごいですね。周囲からは、駒沢と大きく力の差があると言われ、そして12月上旬にはチーム内でインフル蔓延。それでも最後の最後まであきらめてなかったのですよね。監督も学生も。今回の作戦名「負けてたまるか大作戦」。本当に「負けてたまるか」を体現しました。

今回の地震もそうですが、誰でも生きてると大なり小なり困難にあたります。その際青山学院大学の学生や原監督のように「負けてたまるか」という強い意思をもって立ち向かう大切さを私は見せつけられ、勇気付られた気がしました。今年一年、何があるか分かりませんが、何があっても「負けてたまるか」で立ち向かっていこうと思います。保護者の皆様には、本年も生地小学校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



余談ですが、この学校だよりはもっとはやくお渡ししようと思っておりました。しかし私自身が体調不良になってしまい、40度ほどの高熱と喉の痛みで3日間苦しみました。15日からようやく職務に復帰することができました。自分では自分のことを、「どちらかといえば頑強」だと思っていましたが、年始からの様々な出来事で弱っていたのでしょうか。皆様もご自愛ください。

二十歳を祝う式 1月7日(日)



生地小学校出身で令和5年度に二十歳を迎えらえる方を祝う式が7日の朝にありました。集合写真撮影の他、恩師(当時の6年担任)等の話。そしてタイムカプセルの中にあった品々を眺め、小学生時代のことを思い出しながら皆さん談笑しておられました。

大谷翔平選手から寄贈

様々なメディアで情報は、伝わっていると思いますが、生地小学校にもMLBで活躍されている大谷翔平選手よりグローブが届きました。右利き用のグローブ2つ(大きいサイズと少し小さなサイズが1つずつです。)と左利き用グローブ1つの計3つのグローブです。現在は、児童玄関前に飾り、お披露目しています。暖かくなり、外で活動できるようになれば、子供たちにこのグローブを使ってキャッチボール等をさせたいと考えています。



保護者の方へのお願い

後日、全校児童に「SOS の出し方についてのお知らせ」を配布します。児童が自分では解決できない「困った」や「悩みごと」があるときの参考になればと考え、作成した「お知らせ」です。担任が丁寧に説明しましたが、児童にとっては理解しづらい文もあるので、保護者の方からもお子様に「SOS の出し方についてのお知らせ」を読んで説明していただきたいと思います。お手数をかけますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

